

桃山へ、桃山から 中近世工芸の諸相

2021年4月3日(土) - 5月16日(日)

館蔵・寄託品より桃山時代の作品を中心として室町時代から江戸時代にかけての工芸品をご紹介します。下剋上から天下統一、そして成熟した江戸文化へと価値観が大きく転換したこの時代。美意識の変遷を工芸品でたどります。特別展「豊臣の美術」とあわせてご堪能ください。



《金銅装 蓮華文香炉箱》
室町時代・天文22年(1553) 滋賀・成菩提院蔵

戦国武将像

2021年4月3日(土) - 5月16日(日)



《豊臣葉丸像》(部分)
桃山時代・16世紀 京都・妙心寺蔵

特別展「豊臣の美術」の開催にあわせて、社寺寄託作品を中心に、戦国武将像を特集します。豊臣一族、豊臣家家臣とゆかりの婦人らのほか、織田氏、徳川氏周辺の武将もとりあげ、桃山人らの生涯を彩った「夢」に思いをはせます。

受贈記念 アンコール・ワットの拓本

2021年4月3日(土) - 5月16日(日)

アンコール・ワットは、カンボジアに興ったアンコール朝の首都にあるヒンドゥー教寺院です。12世紀初め、スールヤバルマン2世により建立されました。均整美を見せる構造や壁を飾る優美な浮彫装飾が世界中の人々を引き付けています。

このたび、アンコール・ワット拓本保存会が4度にわたり採取した浮彫装飾の拓本を、当館へご寄贈いただきました。受贈を記念し、貴重な拓本を公開いたします。



《火を消す聖鳥ガルダ》
アンコール時代・12世紀 本館蔵



《大蛇ヴァースキーを引くアスラ》
アンコール時代・12世紀 本館蔵

しゅんかようよう 春夏養陽 — 中国の書画 —

2021年4月3日(土) - 5月16日(日)



張賜寧《桑蚕詩意図》(部分)
清時代・17-18世紀 本館蔵

中国の古代思想において、世界は「陰」と「陽」のバランスによって成り立っていると考えられてきました。四季の巡行もまた陰陽のはたらくとされ、春になると陽の気が起きはじめて草木が芽吹き、夏になると陽気が最大になって成長を促すといわれています。本展では力強く生命感にあふれる春夏を主題として中国書画をご紹介します。

ちようこくじこう 雕刻時光 北魏の石造仏教・道教彫刻

2021年4月3日(土) - 5月16日(日)

当館の誇る山口コレクション中国彫刻の優品を中心に、南北朝時代の北魏そして続く西魏・東魏(5-6世紀)に造られた仏像・道教像を展示いたします。



《石造 如来坐像》
北魏天安元年(466) 本館蔵(山口コレクション)